

世代をつなぐ農村まるとと保全向上対策

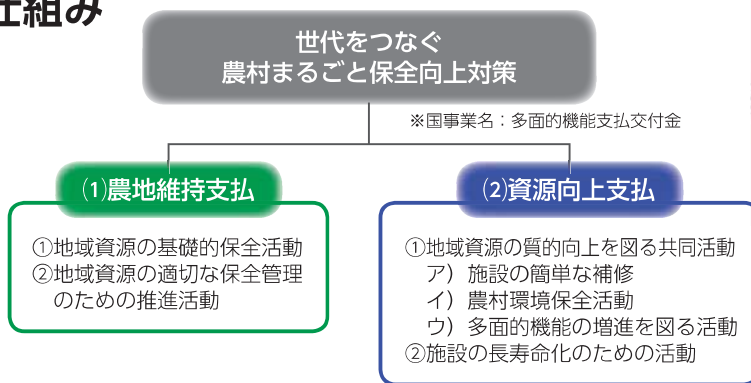
農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るため、農家、土地持ち非農家、地域住民が協力して行う地域の共同活動を支援し、水路や農道などの地域資源の適切な保全管理を推進します。

農業・農村は、国土の保全、水源のかん養、自然環境の保全、良好な景観の形成などの多面的機能を有しており、私たちみんながその利益を享受しています。

こうした機能を支えてきた地域の共同活動は、農村地域の過疎化、高齢化、混住化などの進行により、困難になりつつあります。また、それに伴い、農用地、水路、農道などの地域資源の保全管理に必要な担い手農家の負担も増加しています。

このため、「**世代をつなぐ農村まるとと保全向上対策**」により、農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るための地域の共同活動を支援し、地域資源の適切な保全管理を推進するとともに、豊かな恵みを育む農村を良好な姿で次世代に引き継いでいきます。

事業の体系と仕組み



支援対象活動の例（農地維持支払）

「世代をつなぐ農村まるとと保全向上対策」は滋賀県内の農地の約70%に当たる36,004haで取り組まれています。



「世代をつなぐ農村まるとと保全向上対策」農地維持支払に取り組んでいる農地

支援対象活動の例（資源向上支払）

地域資源の質的向上
を図る共同活動



研修会の実施



生きもの調査



景観形成活動（コスモス植栽）

施設の長寿命化
のための活動



老朽化した用水路の補修・更新



生物多様性に配慮した排水路の補修・更新

農業集落排水事業

昭和50年代から整備してきた農業集落排水施設は平成28年度に供用率100%を達成しました。

現在は、供用開始から20年以上経過する施設が増加し、老朽化・機能低下の進行が大きな課題となっています。

このことから、施設の機能を回復するため、老朽化した施設の適正な更新時期を把握するための、機能診断調査と処理施設の改築更新を行う機能強化対策事業を実施しています。

農業集落排水施設の整備状況（令和5年3月末現在）

	施設数	集落数
全体計画	223	415
整備済	223 (100%)	415 (100%)
機能強化	65 (29.1%)	133 (32.0%)
機能診断	66 (29.6%)	124 (29.9%)



沈殿槽汚泥掻き機の減速機更新



ブロウ機器更新



引込開閉器盤更新

